

# 2008年2月期中間決算報告と下期の取組み

2007年10月9日

徹底した



質重視

CircleK Sunkus



株式会社サークルKサンクス (証券コード:3337)

代表取締役社長 中村 元彦

広報IR秘書室長 吉田 雅浩

# 株主・投資家のみなさまへ

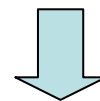


代表取締役社長  
中村 元彦

## 2007年度経営方針

### 徹底した質重視路線への転換

上期：新店日販の改善、既存店前年比の  
マイナス幅縮小などで成果



しかし、「質」の向上の取組みは道半ば  
さらに営業力の強化に注力し、質の向上を目指す

### 2円増配を実施

中間配当金1円、期末配当金1円増配

通期配当金は**40円**に！！

# 1. 連結業績ハイライト

(単位: 店、百万円)

	2007/8期 実績	
		前年同期比
出店	179	+26
閉店	249	+21
期末店舗数	5,317	-35
チェーン全店売上高	463,490	-1.2%
営業総収入	104,556	+5.6%
営業総利益	69,625	+0.2%
販管費	58,058	+5.0%
営業利益	11,567	-18.4%
経常利益	11,108	-18.2%
中間純利益	4,486	-19.7%

## 【連結子会社の実績】

連結子会社	コンビニ 4社計	ゼロネット ワークス	99 イチバ
出店	11	-	18
閉店	21	-	1
期末店舗数	255	-	35
売上高	19,016	-	2,109
営業総収入	3,956	2,347	2,110
営業利益	58	-41	-218

1. 当社の連結子会社に、当期より(株)99イチバが新たに加わり、合計で6社となりました。
2. 連結子会社の営業総収入、営業利益は連結消去をしていません。
3. (株)ゼロネットワークスが展開する「ゼロバンクATM」の設置台数は、2007年8月末現在で 2,498台 です。

## 2. 上期レビュー

(1) 出店・閉店の状況 [単体ベース]

### 1 出店数の計画未達幅は縮小し、新店日販は前年同期比2.3万円改善

	2007/8期実績	前年同期比
出店数	150店	+9店
うち、リロケート	55店	+11店
新店日販	42.6万円	+2.3万円

計画	計画差
157店	-7店
(通期計画) 150店	* 37%
43.4万円	-0.8万円

(参考) サークルK: 出店96店(うち、リロケート34店)、新店日販43.7万円  
 サンクス : 出店54店(うち、リロケート21店)、新店日販40.8万円

\*注: リロケートの計画差の欄は計画進捗率です。

### 2 前年同期を12店上回る227店を閉店

	2007/8期実績	前年同期比
閉店数	227店	+12店
自営店	83店	-5店
FC店	144店	+17店

計画	計画差
251店	-24店

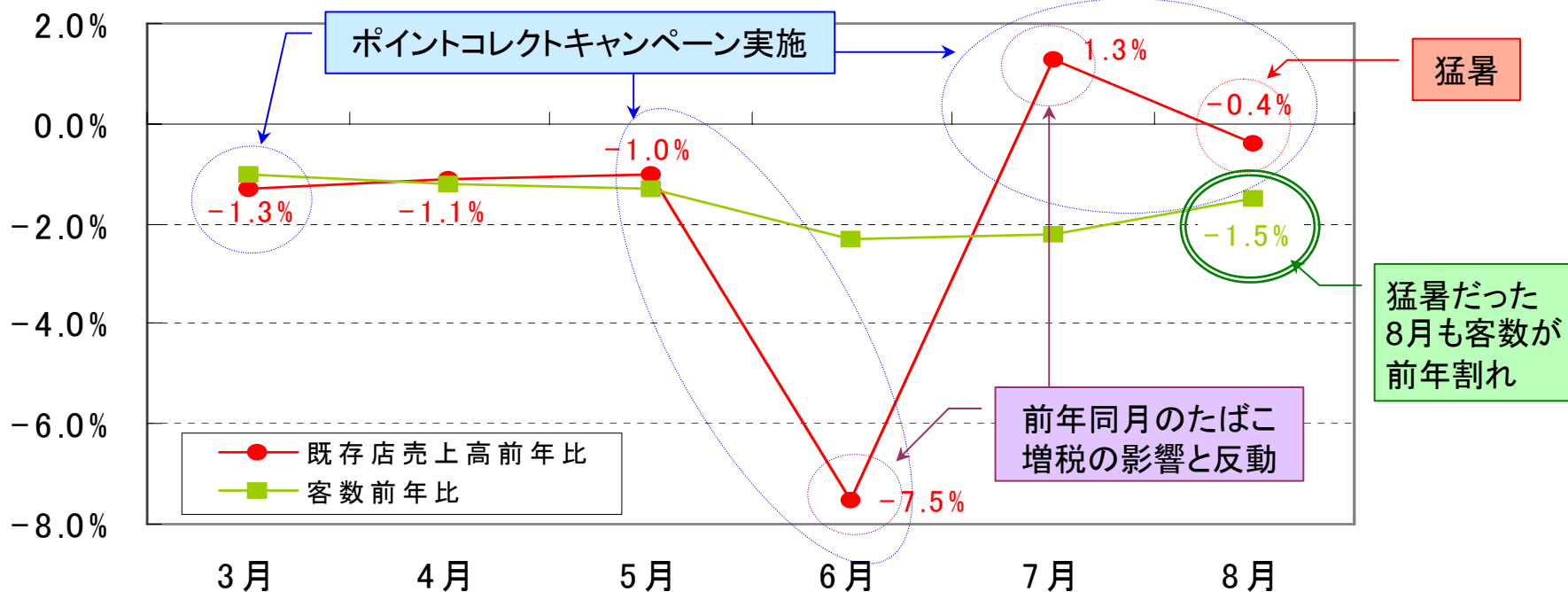
(参考) サークルK: 閉店121店、サンクス : 閉店106店

自営店数が減少せず

07/2期末自営店数: 598店 ⇒ 07/8期末自営店数: 602店 (+4店)

## 2. 上期レビュー (2) 既存店売上の状況 [単体ベース]

### 1 既存店前年比のマイナス幅が縮小



### [地域別の既存店前年比]

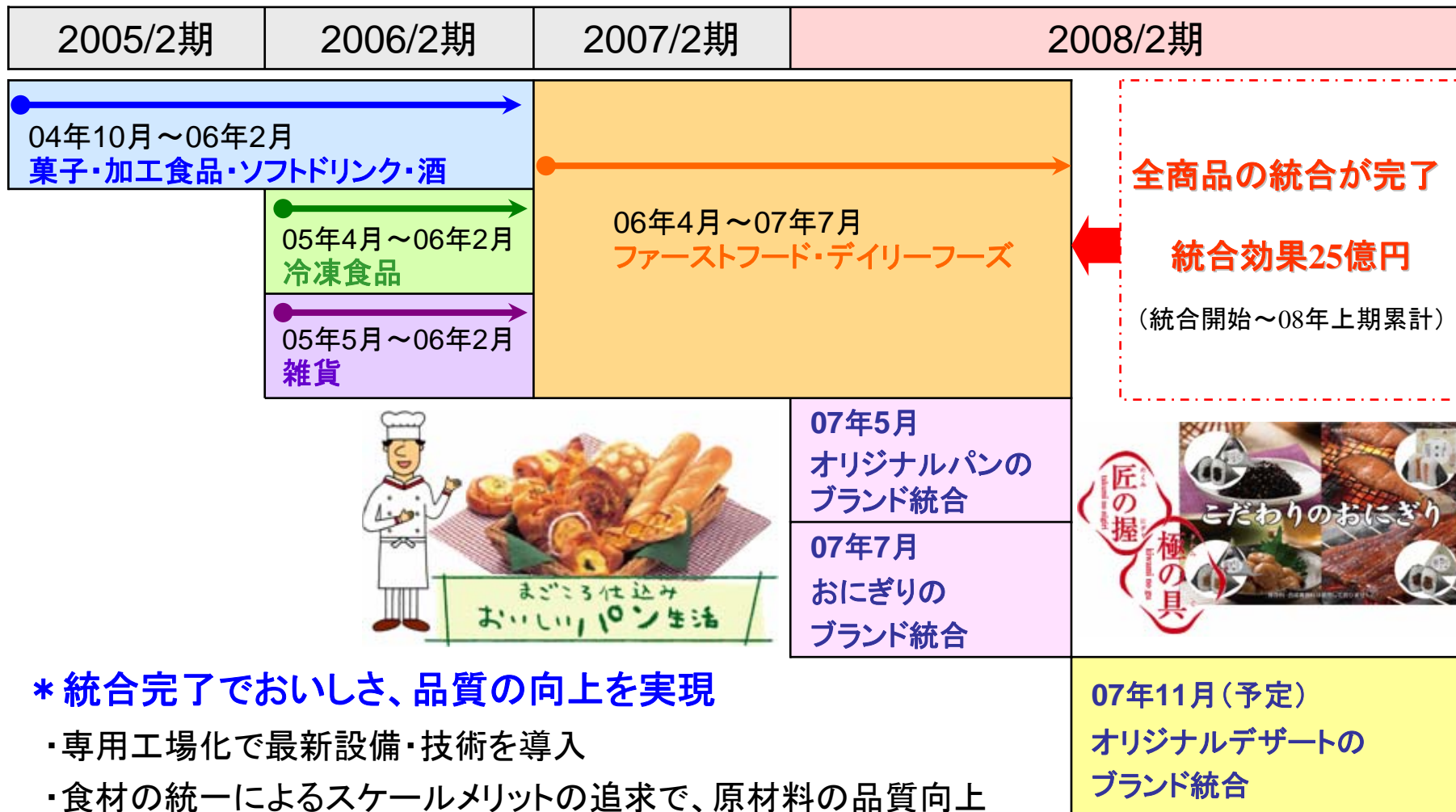
07/8期	北海道	東北	関東	中部・北陸	中京三県	関西	中国	全国計
サークルK サンクス	-0.8%	-3.2%	-0.5%	-1.1%	-2.2%	-2.4%	-2.1%	-1.7%

客数が減少

上期累計客数前年比 -1.5%

# 2. 上期レビュー (3) 商品の統合作業状況

1 商品のベンダー・物流統合は今期7月に前倒しで完了し、商品ブランドの統合を推進中



➡ 今後は、攻めのマーチャンダイジングへ

## 2. 上期レビュー (4) その他の取組み

### 1 ポイントコレクトキャンペーンを実施

2月15日～4月2日 ドラえもんフェア ドラえもんマグカッププレゼント	 ©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK 2007
5月22日～6月10日 オリジナルパン新ブランド誕生記念 「トムとジェリー絵皿プレゼント」	 TM & ©Turner Entertainment Co. (s07)
7月10日～8月6日 夏のWAKUWAKU! 企画 ムーミン絵皿プレゼント	 ©Moomin Characters IM

### 2 KARUWAZA CLUB会員27万人突破

・4月より、携帯電話の「おサイフケータイ」を利用した**カードレス化会員登録**を開始



KARUWAZA CLUB会員数(2007.8末)  
**272,948人**(前期末比 56,496人増加)



KARUWAZA CLUBのキャラクター「カルム君」

### 3 店頭受取サービス開始

・新たなサービスとして、通信販売商品の**店頭受取サービス**を開始

➡ 現在は、「セシール」と「ディノス」商品を取り扱い

### 4 来年2月から関西地区へATM導入

・5月24日、**関西地区の店舗にATMを設置**することで「りそな銀行」と基本合意

### 5 99イチバは順調に推移

・期末店舗数は35店に！



	07/8期実績	計画比
出店	18店	+1店
閉店	1店	+1店
期末店舗数	35店	±0店
全店平均日販	43.5万円	±0万円

### 3. 単体業績の実績と計画差異

	2007/8期実績	
		前年同期比
チェーン全店売上高	<b>442,365</b>	-1.5%
既存店前年比	<b>-1.7%</b>	-
平均値入率	<b>29.10%</b>	-0.05%
営業総収入	<b>96,640</b>	+3.3%
営業総利益	<b>66,773</b>	±0.0%
販管費	<b>54,989</b>	+3.7%
営業利益	<b>11,783</b>	-14.1%
経常利益	<b>11,263</b>	-14.5%
中間純利益	<b>4,580</b>	-16.2%

(単位:百万円)

計画	計画差
445,890	<b>-3,525</b>
-0.8%	<b>-0.9%</b>
29.17%	<b>-0.07%</b>
94,690	<b>+1,950</b>
67,300	<b>-527</b>
54,289	<b>+700</b>
13,010	<b>-1,227</b>
11,320	<b>-57</b>
4,340	<b>+240</b>

(注) 平均値入率の前年同期比は増減です。



# 4. 単体業績の要因分析 (1)チェーン全店売上高、営業総収入

(単位:百万円)

	2007/8期	前年同期比 増減
チェーン全店売上高	<b>442,365</b>	<b>-6,756</b>
既存店前年比	<b>-1.7%</b>	-
平均値入率	<b>29.10%</b>	<b>-0.05%</b>
営業総収入	<b>96,640</b>	<b>+3,123</b>

## チェーン全店売上高は67億円減少

既存店前年比は-1.7%

全店日販47.6万円は、前年同期比約2,000円のダウン

前年同期を12店上回る227店を閉店

## 平均値入率は0.05ポイント悪化

- ・統合効果が0.04%あったが、セールスミックスで値入率は悪化

### 【各カテゴリーの値入率】

カテゴリー	前年同期比
ファーストフード	+0.3%
生鮮食品	+0.4%
加工食品	+0.3%
非食品	-0.2%
サービス	-1.0%

### 売上高前年比

ファーストフード: -5%

たばこ: +2%

チケット: +7%  
ネットプリカ: +45%

## 営業総収入は31億円増加

- ・自営店の店舗数が前年同期比72店増加したことにより、自営店売上高が41億円増加

営業総収入内訳	前年同期比
加盟店からの収入*	-1.9%
不動産賃貸収入	-6.9%
<b>自営店売上高</b>	<b>+11.6%</b>
その他	+6.3%

\*「加盟店からの収入」には、エリアFC13社からのエリアライセンスフィー1,572百万円が含まれています。

# 4. 単体業績の要因分析 (2) 販管費、営業利益

(単位: 百万円)

	2007/8期	前年同期比 増減
営業総利益	66,773	+20
販管費	54,989	+1,958
人件費	9,956	-75
広告・販促費	5,559	+553
地代家賃	19,649	+942
設備リース料	3,593	-699
減価償却費	3,012	-126
その他	13,217	+1,364
営業利益	11,783	-1,938

## 販管費は19億円増加

### 広告・販促費5.5億円増加

ポイントコレクトキャンペーン(3回)など、積極的な販売促進策を実施

### 地代家賃9.4億円増加

- ・新店の家賃相場の上昇
- ・店舗の大型化、敷地面積拡大

### 設備リース料と減価償却費8.2億円減少

- ・現システムの契約満了で設備リース料は5.9億円、ソフトウェア資産の償却満了に伴い減価償却費は2.2億円減少
- ・固定資産減損処理に伴う費用減額  
⇒前年同期比1.4億円増加

### その他13.6億円増加

- ・経営委託店・事務委託費用が前年同期比7.2億円増加  
⇒経営委託店は前年同期比+39店

## 営業利益は19億円減少

販管費が19億円増加

# 4. 単体業績の要因分析 (3) 経常利益、中間純利益

(単位:百万円)

	2007/8期	前年同期比 増減
営業利益	11,783	-1,938
営業外収益	750	+169
営業外費用	1,271	+140
経常利益	11,263	-1,908
特別利益	136	+4
特別損失	3,329	-182
中間純利益	4,580	-888

## 経常利益は19億円減少

- ・前年同期を12店上回る227店の閉店を実施
- ⇒営業外費用のうち解約損害金11億円、前年同期比12.6%増加

## 当期純利益は8億円減少

- ・特別利益:4百万円増加
- ・特別損失:1.8億円減少

特別損失内訳	実績	前年同期比
閉店費用	493	-9.8%
固定資産処分損	409	-10.5%
リース解約損	84	-6.4%
減損損失	2,306	+4.1%
投資有価証券評価損	351	-47.5%

# 5. 下期の取り組み

## 1 店舗の質向上と自営店対策

### ①出店・閉店計画（単体ベース）

	上期実績	下期計画	通期計画
出店	150店	170店	320店
うち、リロケート	55店	—	150店
新店日販	42.6万円	40.8万円	41.2万円
閉店	227店	230店	457店
うち、自営店	83店	86店	169店

### ②自営店削減のための取り組み

\*発生を抑制 ⇒ オーナーの事業意欲、継続意欲を高める

(1)「複数店経営優遇制度」を9月1日より導入開始

(2)「ベンチャー社員制度」を活用 ⇒ 08/2期:入社目標120名、独立者5名を見込む

(3)既存店前年比の向上を目指し、FC支援策(ポイントコレクトキャンペーンなど)を継続

# 5. 下期の取り組み

## 2 客数増加の取り組み

### ①売れる商品開発 ⇒ 攻めのマーチャндаイジング

- (1) 11月より、**新ブランドデザート**を発売 ⇒ サークルKサンクスの看板商品に育成
- (2) 11月より、弁当で新調理法を導入し、おいしさの向上を実現
- (3) 11月より、プライベート菓子「ほがら菓たいむ」で**「高付加価値」**の商品を品揃え
- (4) 「99イチバ」商品の既存店舗への還流**「105円冷凍食品」**を全店で展開



### ②サービスの強化

- (1) **店頭受取サービス**の強化 ⇒ 客数アップ
- (2) **「QUICPay」と「Visa Touch(Smartplus)」**の新取り扱いで、電子マネーの決済手段が多様化
- (3) 08年2月より、関西地区(2府4県)でりそな銀行を幹事銀行とする**「バンクタイム」ATM**を順次導入 ⇒ (参考)上期の関西地区客数前年比97.9%

**BankTime**  
バンクタイム

### ③WAKUWAKU! する店作り「ポイントコレクトキャンペーン」を実施

- (1) 10月16日～11月19日、「ドラえもんフェア」  
⇒ ドラえもん絵皿、マイバックをプレゼント
- (2) 年末年始、「冬のWAKUWAKU! キャンペーン」を実施予定



# 6. 2008/2期 単体業績予想

(単位: 店、百万円)

	上期実績	2008/2期予想		期首計画
			前期比	
出店	150	320	+13	320
閉店	227	457	+100	450
期末店舗数	5,027	4,967	-137	4,974
チェーン全店売上高	442,365	865,230	-0.9%	869,780
既存店前年比	-1.7%	-1.2%	-	-0.8%
平均値入率	29.10%	28.99%	+0.02%	29.11%
営業総収入	96,640	188,230	+2.6%	181,110
営業総利益	66,773	130,300	+0.8%	130,570
販管費	54,989	109,000	+2.6%	106,310
営業利益	11,783	21,300	-7.1%	24,260
経常利益	11,263	19,280	-11.7%	21,070
当期(中間)純利益	4,580	8,990	-13.6%	9,060

## 下期の前提

出店: 170店

閉店: 230店

⇒ 上期の閉店未達分は下期に積み増し

既存店前年比: -0.8%

⇒ 期首の計画を維持

平均値入率: 28.86%

⇒ たばこ、ネットプリカなど低値入商品の売上が引き続き伸長することから、期首計画比0.18%引き下げ

+

■ 下期販管費が期首計画比約20億円増加(人件費、地代家賃の増加など)

+

■ 下期に退職年金代行返上益約13億円を特別利益に計上



通期計画を修正

# 7. 2008/2期 連結業績予想

(単位: 店、百万円)

	上期実績	2008/2期予想		期首計画
			前期比	
出店	179	<b>379</b>	+51	388
閉店	249	<b>488</b>	+102	483
期末店舗数	5,317	<b>5,278</b>	-91	5,292
チェーン全店売上高	463,490	<b>907,930</b>	-0.4%	913,570
営業総収入	104,556	<b>205,620</b>	+5.8%	198,400
営業総利益	69,625	<b>136,310</b>	+1.7%	136,766
販管費	58,058	<b>115,740</b>	+4.3%	113,466
営業利益	11,567	<b>20,570</b>	-11.0%	23,300
経常利益	11,108	<b>18,500</b>	-16.3%	20,000
当期(中間)純利益	4,486	<b>8,310</b>	-18.8%	7,600

連結子会社6社合計	
出店	59
閉店	31
期末店舗数	311
売上高	42,700
営業総収入	17,390
営業利益	-730

(注) 連結子会社6社合計の営業総収入、営業利益、経常利益は連結消去後です。

### 〔連結子会社6社〕

サンクス青森(株)(エリアFC)  
 サンクス西埼玉(株)(エリアFC)  
 (株)サンクス北関東(エリアFC)  
 サンクス西四国(株)(エリアFC)  
 (株)ゼロネットワークス  
 (ATM運用業務の受託事業)  
 (株)99イチバ(生鮮ミニスーパー)

\* 連結子会社は、販管費の削減などにより利益改善を見込み、連結子会社6社合計の通期営業利益は期首計画に比べて2.3億円程度上回る見通し

# 8. 株主還元について

## 当社の基本方針

連結当期純利益の25%を配当として還元し、将来的には配当性向を30%以上に高める

## 年間配当金を **2円増配** !

### 株主還元状況

	07/2期	08/2期
中間配当金	19円	<b>20円</b>
期末配当金	19円	<b>20円</b> (予定)
年間配当金	38円	<b>40円</b> (予定)
配当性向	31.7%	<b>40.3%</b> (予定)
純資産配当率	2.7%	<b>2.7%</b> (予定)
自己株式の取得	50億円	

### 株主優待制度

ご所有株式	株主優待内容
100株～499株	1,000円分(年間2,000円分)
500株～999株	2,500円分(年間5,000円分)
1,000株以上	5,000円分(年間10,000円分)



年2回「お買物カード」  
を株数に応じて進呈

2007年春のお買物カード



本資料には発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予想を含んだ内容を記載しております。

実際の業績は今後様々な要因によってこれらの予想とは異なる可能性があります。